

名前

月日

点

年表の穴うめ（12項目）

（ ）にあてはまることばを書きましょう。

年	できごと
1334	後醍醐天皇が 建武の新政 を始める
1338	足利尊氏 が征夷大將軍になる
1392	足利義満が 南北朝 を統一する
1397	足利義満が京都の北山に 金閣 を建てる
1404	明との 勘合貿易 が始まる
1428	近江で 正長の土一揆 が起こる
1467	応仁の乱 が起こる
1488	加賀の一向一揆 が起こる
1489	足利義政が京都の東山に 銀閣 を建てる
1543	種子島に 鉄砲 が伝わる
1549	ザビエルが キリスト教 を伝える
1560	織田信長が 桶狭間の戦い で今川義元を破る

一問一答 (23問)

室町幕府（ばくふ）3代将軍（しょうぐん）で、南北朝を統一し金閣（きんかく）を建てた人物は？	足利義満
足利義満（あしかがよしみつ）が京都の北山に建てた楼閣（ろうかく）は？	金閣
1467年、将軍（しょうぐん）のあとつぎ争いから京都で始まった戦乱は？	応仁の乱
1549年に鹿児島に来て、日本にキリスト教を伝えた宣教師は？	ザビエル
1338年に征夷大将軍（せいいたいしょうぐん）となり、室町幕府（ばくふ）を開いた人物は？	足利尊氏
後醍醐天皇（ごだいごてんのう）が武士（ぶし）をおさえ天皇（てんのう）中心の政治を目指した政治は？	建武の新政
足利義満（あしかがよしみつ）が始めた、正式な貿易船に合い札を持たせた明との貿易は？	勘合貿易
銀閣（ぎんかく）を建てた室町幕府（ばくふ）8代将軍（しょうぐん）は？	足利義政
足利義政（あしかがよしまさ）が京都の東山に建てた、質素で落ち着いた建物	銀閣
銀閣（ぎんかく）と同じ、たたみ・障子・床の間をもつ、今の和室のもとになった建築は？	書院造
身分の下の方が実力で上の者に打ち勝つ、戦国時代の風潮は？	下剋上
1543年、種子島に漂着したポルトガル人が伝えたものは？	鉄砲
甲斐（山梨県）の戦国大名で、堤防を築いて洪水を防ぎ、分国法「甲州法度之次第」を定めた人物は？	武田信玄
越後（新潟県）の戦国大名で、武田信玄と何度も戦った人物は？	上杉謙信
戦国大名が領国を治めるために独自に定めた法を何という？	分国法
戦国時代、小田原（おだわら）を本拠に関東を支配した戦国大名は？	北条氏（後北条氏）
室町時代までに広まった農業の工夫として、あてはまらないものは？	千歯こきや備中ぐわの使用
1428年、近江（滋賀県）の馬借（ばしゃく）の行動をきっかけに、農民たちが借金（徳政）を求めて起こした一揆は？	正長の土一揆
1485年、京都府南部で武士と農民が守護大名を追い出し、8年間自治を行った一揆は？	山城の国一揆
1488年、浄土真宗（一向宗）の信者たちが守護大名をたおし、約100年間自治を行った一揆は？	加賀の一向一揆

21 室町時代、明にわたって絵を学び、日本の水墨画を大成した僧は？

雪舟

22 足利義満の保護を受け、能を大成した親子は？

観阿弥と世阿弥

23 能の合間に演じられた、民衆の生活などを題材にしたこっけいな劇は？

狂言

正誤問題（5問）

1 正しいものを1つ選びましょう。

ウ

- ア 1485年、京都府南部で武士と農民が正長の土一揆を起こして守護大名を追い出し、8年間自治を行った。
→ 正しくは「山城の国一揆」
- イ 銀閣と同じ校倉造の建築は、たたみ・障子・床の間をもち、今の和室のもとになった。
→ 正しくは「書院造」
- ウ 室町幕府8代将軍の足利義政が、銀閣を建てた。
- エ 甲斐（山梨県）の戦国大名の北条早雲は、堤防を築いて洪水を防ぎ、分国法「甲州法度之次第」を定めた。
→ 正しくは「武田信玄」

2 誤っているものを1つ選びましょう。

エ

- ア 越後（新潟県）の戦国大名の上杉謙信は、武田信玄と何度も戦った。
- イ 室町時代、僧の雪舟が明にわたって絵を学び、日本の水墨画を大成した。
- ウ 戦国時代、戦国大名の北条氏（後北条氏）が小田原を本拠に関東を支配した。
- エ 室町幕府3代将軍の足利義政が、南北朝を統一し金閣を建てた。
→ 正しくは「足利義満」

3 正しいものを1つ選びましょう。

イ

- ア 1488年、浄土真宗（一向宗）の信者たちが山城の国一揆を起こして守護大名をたおし、約100年間自治を行った。
→ 正しくは「加賀の一向一揆」
- イ 千歯こきや備中ぐわの使用は、室町時代までに広まった農業の工夫にはあてはまらない。
- ウ 1338年、織田信長が征夷大將軍となり、室町幕府を開いた。
→ 正しくは「足利尊氏」
- エ 1467年、将軍のあとつぎ争いから京都で壬申の乱が始まった。
→ 正しくは「応仁の乱」

4 誤っているものを1つ選びましょう。

ア

- ア 足利義満は、京都の北山に楼閣の東大寺を建てた。
→ 正しくは「金閣」
- イ 後醍醐天皇は、武士をおさえ天皇中心の政治を目指して建武の新政を行った。
- ウ 能の合間には、民衆の生活などを題材にしたこっけいな劇の狂言が演じられた。
- エ 戦国大名が領国を治めるために独自に定めた法を分国法という。

5 正しいものを1つ選びましょう。

ウ

- ア 足利義満は、正式な貿易船に合い札を持たせて、明との日宋貿易を始めた。
→ 正しくは「勘合貿易」
- イ 戦国時代には、身分の下の方が実力で上の者に打ち勝つ参勤交代の風潮が見られた。
→ 正しくは「下剋上」
- ウ 足利義満の保護を受け、観阿弥と世阿弥の親子が能を大成した。
- エ 足利義政は、京都の東山に質素で落ち着いた法隆寺を建てた。
→ 正しくは「銀閣」